

特定非営利活動法人ジェネリック医薬品協議会 2019（令和1）年度通常総会議案書

- 日時 2019年5月30日(木) 12時00分～13時15分(開場11時45分)
- 場所 学士会館203号室（東京都千代田区神田錦町3-28 電話03-3292-5936）
- 次第
 1. 開会挨拶
 2. 議長選出
 3. 成立状況の確認
 4. 議事録署名人の選任
 5. 議案審議
 - 議案1 2018年度事業報告・決算・監査報告
 - 議案2 2019年度事業計画・予算
 - 議案3 ジェネリック医薬品の日制定の取組み
 - 議案4 次年度総会開催日
 - 議案5 役員改選
 6. 閉会挨拶

議案 1 2018 年度事業報告・決算・監査報告

1. 会員

● 現勢

| | <u>正会員(個人)</u> | <u>賛助会員</u> |
|------------|----------------|-------------|
| 2017 年期末 | 21 | 10 |
| 2017 年期末退会 | 0 | 0 |
| 2018 年期首 | 21 | 10 |
| 2018 年期入会 | 0 | 0 |
| 2018 年期退会 | 2 | 0 |
| 2018 年期末 | 19 | 10 |

● 会費納入状況

◇ 前期までの未納

- なし

2. 事業報告

(1) 全体

1) 会議

- 通常総会 2018 年 5 月 24 日開催
- 執行理事会 5 回開催

2) 活動の基本方針

◇ ジェネリック普及率 80%に近づきつつある状況で、NPO 法人としての GEDA にふさわしい活動を展開していく。

(2) 委員会

1) ジェネリック医薬品品質・情報委員会(山本典男委員長)

● 添付文書の共有化

2014 年、永井恒司理事長(現名誉理事長)は添付文書の共有化実現に向けての協力を要請し、日本ジェネリック医薬品学会(当時)と日本ジェネリック製薬協会からも賛同を得て、連携・協議・情報交換を重ねる旨の一致を見たところでした。2015 年 3 月には、先発医薬品とジェネリック医薬品の添付文書の共有化について GEDA 主催のセミナーを開催してきたところである。2018 年 4 月厚労省は、「後発医薬品の添付文書等における情報提供の充実に係わる意見募集について」の結果について、「情報不足を理由とした後発医薬品への否定的見解への対抗措置として極めて有効で、後発医薬品の普及に寄与」、「先発医薬品の特許期間終了後はすでに公表されている有効性、安全性の情報も公共財産として共有されるべきである。このことは欧米、アジアの多くの国々でも同様の

認識から法令等の措置がなされていることから、国際的な規制調和にもつながるものである。」とする意見が注目される。

- 講談社発行(院内刑事ブラック・メディスン著者濱嘉之)の内容訂正要請
本書を読み進めていくうちに、記述において時代が交錯している箇所や明らかに誤りがある箇所が認められたので、ページを付記して指摘した。(別紙①参照)
- あすか製薬のバルサルタン製品回収に関して
執行理事会として同社生産本部長に経過と対応および原因などについてお聞きした。

2) 医療セミナー委員会(福生吉裕委員長)

「エニグマ症例検討会」を平成 29 年 9 月 22 日(金)と平成 30 年 2 月 16 日(金)に、厚生中央病院と渋谷 AP 渋谷道玄坂ホールで開催した。研修医、総合診療医への診断力向上とジェネリック医薬品の理解の浸透に繋がった。(別紙②③参照)

3) GEDA 表彰委員会(福生吉裕委員長)

GEDA は、2014 年よりジェネリック医薬品の使用促進に顕著な貢献をされたと評される個人・団体に「ジェネリック医薬品普及推進貢献賞」を授与し、その功績を称え顕彰してきた。2019 年からはジェネリック医薬品の普及状況を鑑み、顕彰の対象を「ジェネリック医薬品の正しい理解を広める啓発や科学的な評価等に顕著な貢献をされたと評される個人・団体」とし、名称も「ジェネリック医薬品貢献賞」と改めて、理事会で次のとおり選考した。

- 受賞者:山梨県と沖縄県
- 選考理由:
 - ◇ 厚生労働省発表の都道府県別ジェネリック医薬品の使用率に着目し、以下の理由で選考した。
 - 山梨県:ジェネリック使用率が対前年比で最も伸びた県(データ:「調剤医療費等の動向調査」平成 30 年 8 月)
 - 沖縄県:長年にわたり使用率が全国トップ

なお数字だけでなく高い実績の要因となった活動実態を評価することが重要なので、両県の受賞記念講演でそれを学ぶこととする。

4) 広報委員会(委員長未定・太田進代行)

- ホームページ
 - ◇ 記事掲載:9 件
 - ◇ 製剤工夫紹介事例を更新した。掲載 2 社 15 件。
 - ◇ GEDA コラム:2 件
- 出版
 - ◇ GEDA 主催のパネルディスカッション(2018 年 5 月 25 日)の記録集を発行し、会

内外に配布した。

5) 会員増強対策委員会(太田進委員長)

新規会員獲得には至らなかった。

6) 公開講座委員会(渡邊善照委員長)

2018年10月13日土曜日に開催されたNPO法人セルフメディケーション推進協議会学術フォーラム2018(仙台)(大会長、東北医科薬科大学病院薬剤部長、渡邊善照)を後援し、薬剤師、市民への活動を行った。

(3)その他

1) 高齢者向け説明のあり方検討

◇ GEDA内のワーキンググループは立上げに至らなかった。

◇ 賛助会員などメーカーを対象に高齢者に優しいジェネリック医薬品開発についてのアンケートを実施し、3社の回答を得た。

◇ GEDA正会員の中田素生氏が第51回日本薬剤師会学術大会で「高齢者向け講演によるジェネリック医薬品に対する意識変化について」の発表を行った。同氏は発表の結語で次のように述べている。

- 高齢者が不安に思っているジェネリック医薬品について講演しアンケート結果を見ると、小学校区単位の「草の根の講演」の効果が高いことが判明した。
- 薬剤師は薬物療法に関し医師に積極的に発言し、患者より理解できる言葉で説明する必要性を強く感じる。

2) 外部問合せ対応

◇ 電話5件：一般4 国保担当1

◇ 内容

- 一般：副作用、医師の処方、ジェネリックの承認
- 国保担当：ジェネリックの概要

◇ GEDAの認知：厚労省リーフレット3件 不明2件

3. 決算

【別紙参照】 活動計算書
貸借対照表
財産目録
予算実績対比表

4. 監査報告

【別紙参照】 監査報告書

議案2 2019年度事業計画・予算

1. 会員(期首)

| <u>個人会員</u> | <u>賛助会員</u> |
|-------------|-------------|
| 19 | 10 |

2. 事業計画

(1) 全体

1) 会議

- 通常総会 2019年5月30日開催
- 執行理事会 4～5回開催

2) 活動の基本方針

ジェネリック普及率 80%に近づきつつある状況で、NPO 法人としての GEDA にふさわしい活動を展開していく。

(2) 委員会

1) ジェネリック医薬品品質・情報委員会(委員長未定)

● 添付文書の共有化

動き始めた共有化、この共有化によって医療機関はどう評価するのか注視していきたい。

● 意見表明

あい変わらず続くメディア等のジェネリック医薬品に対する中傷誹謗には、国民目線で反論する。

2) 医療セミナー委員会(福生吉裕委員長)

● 未病・エニグマ症例検討会

GEDA の医療セミナー委員会はジェネリック医薬品の早期浸透を図るため、研修医、総合診療医を対象に「ドクターG VS ドクターエニグマ」シリーズで症例検討会を二回関東地区の DPC 病院を中心に年二回開催する予定である。

1) 第31回 エニグマ症例検討会 (予定)

- ・日時:2019年9月20日(金)19:00～(開場18:30)
- ・会場:厚生中央病院2階 会議室
- ・発表:3題
- ・参加人数 70名
- ・共催:ツムラ、(一財)博慈会老人病研究所
- ・後援: GEDA、日本未病システム学会、厚生中央病院
- ・協力:東京都医師会、メディカルトリビューン誌

2) 第32回 エニグマ症例検討会 (予定)

- ・日時:2019年2月 日未定
- ・会場:日本医科大学
- ・発表:3題
- ・参加人数 60名
- ・共催:ツムラ。(一財)博慈会老人病研究所
- ・後援:GEDA. 日本未病システム学会、日本医科大学
- ・協力:東京都医師会。メディカルトリビューン誌

3) GEDA 表彰委員会(福生吉裕委員長)

前年度に引き続き「ジェネリック医薬品貢献賞」を選考する。

4) 広報委員会(委員長未定・太田進代行)

- ホームページ
製剤工夫紹介の内容充実をめざす
- 出版
GEDA 主催のパネルディスカッション(2019年5月30日)の記録集を発行し、会内外に配布する。

5) 会員増強対策委員会(太田進委員長)

各委員会等の活動を通じて GEDA を積極的にアピールする。

6) 公開講座委員会(委員長未定)

最近の国民のジェネリック医薬品の意識調査をもとに、普及促進に注力が必要な地域を調査し、市民公開講座の開催地を予定する。また、執行理事会の決定を待って、2019年10月に日本薬剤学会が仙台市で開催する「日本薬剤学会市民講演会」を後援する。

(3)その他

1) 高齢者向け説明のあり方検討

GEDA 内のワーキンググループは立上げを検討する。

2) パネルディスカッション

2019年5月30日に GEDA 主催のパネルディスカッションを開催する。

- ・ ジェネリック医薬品とフォーミュラリー～地域フォーミュラリーの推進に向けて～

3. 予算

【別紙参照】 2019 年度予算

議案 3 ジェネリック医薬品の日制定の取組み

執行理事会にて 2019 年度の GEDA の活動の一環として「ジェネリック医薬品の日」の記念日制定を考える事とし、GEDA 会員から候補日を公募した。6 名の応募があり、5 つの候補日が挙げられた。(別紙④参照)

執行理事会は候補日を絞り、関係諸団体および行政の理解を得たうえで、本総会に候補日を提案する。制定にあたっては一般社団法人日本記念日協会に登録申請する。登録料は1件15万円(税別)である。

議案 4 次年度総会開催日

- 2020 年 5 月 28 日(木)

【別紙一覧】

- ① 「院内刑事ブラック・メディスン」著者濱嘉之宛書状
- ② 第 29 回エニグマ症例検討会
- ③ 第 30 回エニグマ症例検討会
- ④ GEDA ジェネリック医薬品の日候補日提案リスト

- 2018 年度決算関連
活動計算書
貸借対照表
財産目録
予算実績対比表
- 2018 年度監査関連
監査報告書
- 2019 年度予算関連

以上